



おいしそうな
匂いのじゃ!

株式会社 自笑亭

浜松の発展とともに歩んできた 創業162年 老舗の弁当屋



観光客が帰路につく時、最後に楽しめる浜松の味。遠方に発つ浜松市民にとってはお馴染みのふるさとの味。それが、創業162年を迎える老舗「自笑亭」の弁当だ。現在、10代目社長として会社を牽引する、女性社長の山本りささんに話を聞いた。

出世大名家康くん
弁当も人気。1,050円



出世法師直虎ちゃん弁当 1,050円

地元の食材を活かしたお弁当が多数ラインナップされる中、満を持して登場した「直虎ちゃん弁当」。

みかんピューレと一緒に炊き込んだ「みかんご飯」は、さわやかなみかん風味を味わうことが出来る。直虎ちゃんが手に持っている「うなぎの思い箱」にかけた、うなぎの佃煮。その他、しらす、井伊の赤備えになぞらえ色付けた鶏肉、紅生姜で赤くした浜松名物の餃子、彩り豊かな煮物、みかんのわらびもち等が全16品入った女性向けのお弁当。

社長に就任されたきっかけは何だったのでしょうか。
大学を卒業して2年後、入社したのが24歳の時です。一人娘ですから、いつかは会社を継ぐ覚悟はありました。父が現役のうちに沢山の経験を積んで、「と思っていたわけですが、7年前に突然父が他界し、「もう、私がやるしかない！」と腹をくくったんです。当時は不安だらけでしたが。
先代社長と比較して、経営手腕を厳しい目で見られることもあったのでは。私の場合は、取引先の方や社員をはじめ周りの皆様が色々と助けてくださったおかげで、無事に社長を継承することができました。長く続く企業ですから、最初から男性が社長だと思いつ込まれる方が多く、名刺をお渡ししたときに驚かれることはありますね。そのギャップで、私と会社を覚えてい

ただけるのは強みかもしれませんね。営業活動にも役に立っています。
江戸時代から続く企業が大切にしている経営モットーとは。
父から、新しい目で見えて、変えなきゃいけないと思うことはほとんど変えてほしいと言われていました。ところが入社したころは年配の方が多く、新米の私が昔からのやり方を変えることなんて簡単にはできません。それでも、社長の娘がこう言っているのだから、と少しずつ協力してもらい、改革してきたと思っています。一方で伝統の人氣食品「焼鮓」「肉団子」などの製造方法は昔から変えていません。
女城主だった井伊直虎と自身を重ね「共通点を感じることはありますか？」
女の私一人しか「継ぐ」人間がいなかったのは同じですね。嫌だなんて考えている余裕はなかったですから。でも、直虎の時代は今よりもっと女性が生きにくかった時代。城主として領民を束ねることは、本当に大変だったと思います。そういう意味ではかつこ良くて憧れますね。私も引き継いだこの「火」を絶やさないという強い想いを持って、170年、200年と事業が続いていく礎を築きたいと思っています。
変える、残す、守る…。老舗の伝統を受け継ぎ未来を切り開くその姿は、まさに現代の井伊直虎を彷彿とさせる。

株式会社 自笑亭

浜松市中区神田町518
☎053-442-2121
http://jishowtay.com